



いしかわ労福協

第690号 2026年7月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 小水 康史
編集人 徳本 喜彰
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<https://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

第65回 石川県労福協通常総会

**すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう**



小水 理事長

石川労福協は6月25日(木)、フレンドパーク石川において、第65回通常総会を開催した。

総会には、委任状を含め代議員の全16名が出席した。冒頭、西田満明副理事長が開会の挨拶を行ったのに続き、総会議長に須戸由紀子代議員を選出して議事に入った。

須戸議長に挨拶を促された小水康史理事長は、日頃の活動に対する協力に感謝を述べた後、「発災から2年半ほどとなる能登半島地震被災地の復興への道程が遠い中、能登を応援するためにも現地に出向き消費を通じて支援に繋がっていきたい。労福協は労働者の福祉向上はもとより、女性やひとり親家庭などの生活弱者への支援を行っているが、働く仲間の認知度はまだまだ低い。皆さんとともに活動の推進と認知拡大へ協力を求める」と話した。

また、来賓として石川県の山口久雄商工労働部次長兼労働企画課長が出席し、石川県知事の祝辞を代読した。

その後、2025年度活動報告など提案された全議案を承認し、閉会となった。なお、役員の補欠選任により、理事に松岡親司、高村伸幸、橘広行、的場達也、監事に西盛俊彦の各氏が選任された。



第25回 北陸労働金庫通常総会



西田 理事長

2026年6月24日(水)、ホテル金沢において北陸労働金庫第25回通常総会が開催され、冒頭、西田満明理事長が以下のように挨拶した。

『令和6年能登半島地震から2年5か月が経ったが、復興・復旧の道半ばであり、当庫としても引き続き復興支援の取り組みを行っていく。昨年取り扱いを開始した「復興応援定期預金 結3」の取り組みにおいては、3県で72億円を超える預け入れとなった。「復興応援定期預金 結1・結2」と合わせての預金結集額に対して、北陸3県に富山県へ380万円・石川県へ380万円・日本赤十字社福井県支部へ310万円、合計で義援金1,070万円を寄付させていただいた。会員の皆様にはご協力を頂きましたことに改めて感謝を申し上げます。

復興支援はまだまだ必要であり、その思いを継続した創立25周年記念「特別金利定期預金」を今年の2月から取り扱いを開始した。目標150億円のところ、すでに目標金額を超えているが、引き続き取り組みを展開していく所存であり、更なる預金結集をお願いしたい。

次に、国内経済・市場について触れる。日本銀行による政策金利引上げが進む中、中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇は、企業・家計への影響が大きく、中長期的なインフレ基調が進む恐れもあり、先行きの不透明感是否めない状況にある。このような状況下ではあるが、会員の生活改善と向上を目指してまいりたい。

2025年度は「生活応援運動」の中で、会員・推進機構と協働で「ろうきん運動の活性化」と「地域社会への貢献」の取り組みを進めてきた。

生活応援運動では、可処分所得の向上をめざしローンの借り換え運動を展開してきた。この結果、2025年度に借り換えは684名、可処分所得向上額はトータルで約2億83百万円、一人当たりの可処分所得向上額は41万4千円という実績となり、

融資の拡大に繋がるともに取り組みの主旨が伝わっていると感じている。この取り組みを2026年度もしっかりと取り組んでまいりたい。なお、この借り換え運動では「ろうきんSDGs行動指針」に基づき、借り換え成約1件につき千円を積み上げ、地域社会への貢献として北陸3県の各県の子ども食堂を統括する組織に対して各30万円、合計90万円を寄付させていただいた。

また、一昨年より、全国の労働金庫と労働金庫連合会が、金融の枠組みを通してだけでは解決しにくい、手が届きにくい社会的課題の解決に向けて、業態が一体となって地域の活動を応援するため、「〈ろうきん〉働く人と子どもの明日(あした)を応援プロジェクト」を発足させた。「低所得・生活困窮世帯」、「ひとり親世帯等の働く人に対する就労支援」や「生活支援」、そして様々な困難にある「子ども」に対する食糧支援や学習支援等を行っている、本プロジェクトの支援対象となる団体を、全国の労働金庫が選定・推薦し、労働金庫連合会が活動資金を支援するというものである。今回、その趣旨に沿った活動をしている北陸3県の4団体に合計300万円を寄付させていただいた。

フードドライブ活動についても触れておく。昨年も10月中旬頃から1ヶ月間活動を展開し、寄せられた約557kg(51箱)の食品等を北陸3県のフードバンクへ寄贈させていただいた。

それでは2025年度決算の概要を報告する。預金については、期首比でマイナス49億83百万円となった。融資は総融資で215億80百万円の増加となり、残高増加目標を大きく上回る結果となった。経常収益は26億97百万円増加の125億48百万円、経常利益は45百万円減少の11億84百万円、当期純利益は36百万円減少の8億77百万円となり、事業計画で約束した7億50百万円を確保することが出来た。

2026年度は、2030年のシステム更改や会員還元・自己資本の充実のためにも、更なる収益基盤の強化に、取り組んでいかなければならないと考えている。

2026年度は第9期中期計画の初年度として、【みんなが笑顔になれる〈ろうきん〉へ～地域とともに、豊かな未来を～】をビジョンに掲げ、勤労者のための福祉金融機関としての役割を引き続き発揮していきたい。

今年度は北陸労働金庫創立25周年の節目の年

となる。「生活応援運動」、「グッドマナー運動」を展開し、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」取り組みを実現し、皆が共生できる地域社会への貢献活動を展開していく。

最後に、これからの時代はAIの利用拡大やデジタル化、キャッシュレス化がますます進んでいくことは明らかであり、時代とともにお客様のニーズも変化・多様化していくことも間違いない。そのような時代を生き抜く北陸労働金庫としては、時代の波に乗り遅

れることなく、絶えず情報のアンテナを高く掲げるとともに、変化を恐れるのではなく、果敢に立ち向かっていかなければならないと考えている。働く人たちや地域社会から信頼され、愛される福祉金融機関として更なる成長を目指して努力を重ねていくことを申し上げるとともに、引き続き、会員各位のご指導とご鞭撻をお願いしたい』

議案審議では、「2026年度事業計画」など全議案が承認され、成功裡に閉会した。

労働者福祉基金運営委員会

6月1日(月)、労福協はフレンドパーク石川において、第25回労働者福祉基金管理委員会を開催し、行政と労福協関係団体の委員9名全員が出席した。この委員会は、労福協が管理運営する労働者福祉基金の運用・利用状況についての報告と、適正な管理運営が行われているかの確認を目的としており、併せて新たな年度の利活用計画についての提案も行っている。

2025年度の基金約5億円の運用益は、労福協が実施する子育て支援事業など公益的事業の一部として活用し、不足する費用は労福協が補

填した旨報告された。本年度においても同様に運用益を活用することで決定した。



これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場
7月25日	(土)	セカンドライフセミナー(七尾会場)	七鹿労働福祉会館
29日	(水)	IFBN 運営委員会	フレンドパーク石川
30日	(木)	こくみん共済 coop 石川 第9回組員代表者会議	県立音楽堂
8月1日	(土)	自主福祉運動活性化セミナー	フレンドパーク石川
4日	(火)	食とみどり・水を守るNW 幹事会	連合石川
8日	(土)	セカンドライフセミナー(金沢会場)	フレンドパーク石川
18日	(火)	中部労福協 幹事会	滋賀県
22日	(土)	セカンドライフセミナー(小松会場)	小松市民センター
9月4日	(金)	中央労福協 地方労福協会議	Web
5日	(土)	セカンドライフセミナー(白山会場)	白山労働会館
30日	(水)	中央労福協 幹事会	Web
10月1日	(木)	消費者支援NW グッドチョイスセミナー	県生活支援センター
3日	(土)	ありがとう ろうきんフェスタ 2026	県産業展示館
6日	(火)	中部労福協 研究集会(～7日)	金沢市文化ホール
7日	(水)	中部会館協 幹事会(～8日)	京都市
9日	(金)	北陸労働金庫 記念講演会	県立音楽堂
10日	(土)	労福協 LSC 親子芋ほり体験会	五郎島町
21日	(水)	県 LSC 第24回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会	大和町広場
23日	(金)	県 LSC 能登半島地震復興支援第3回チャリティゴルフ大会	金沢カントリー倶楽部

第3回 石川県勤労者「夏の美術展」主な入賞作品



【日本画の部】勤文協会長賞
「ひと時の静けさ」有川 明美（金沢市）



【日本画の部】金賞
「ママ呼んだ!」村中 道尊（白山市）



【洋画の部】勤文協会長賞
「長い髪」松山 和之（金沢市）



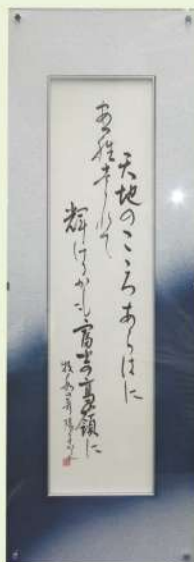
【洋画の部】金賞
「令和6年1月崩れ落ちる」角 渥之（金沢市）



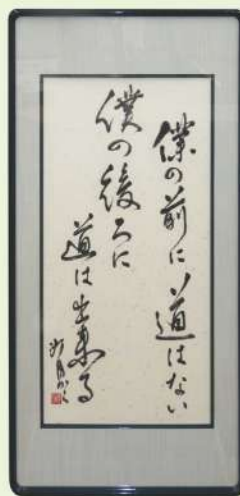
【写真の部】勤文協会長賞
「家族晴れ」高野 順子（七尾市）



【写真の部】金賞
「夕照」掛場 清美（金沢市）



【書道の部】勤文協会長賞
「若山牧水の歌」小倉 陽子（金沢市）



【書道の部】金賞
「高村光太郎の詩」松任 沙月（白山市）



【陶芸の部】勤文協会長賞
「熔華」今治 治美（金沢市）